

3/
18

子どもたちのために 婦人会が炊き出し

一本松山村開発センターで愛南町連合婦人会による放課後児童クラブへの炊き出しが行われました。

この炊き出しは、新型コロナウイルスの影響でイベントに参加できない子どもたちにも喜んでもらうとともに、おやつや食事の準備をする保護者の負担を軽減させることを目的に行われました。

婦人会会長の森岡眞由美さんは、「子どもたちに喜んでもらう、保護者の役に立てれば幸いです」と話しました。



おやつを受け渡しを行う婦人会の会員と児童クラブの皆さん

3/
24

家串小卒業生に出身者が 自作の写真立てを贈呈

家串小学校の卒業生4人に対して、地元出身で同校卒業生の山本千亜希さん（松山市在住）から、伊予水引と大洲和紙を装飾した写真立てが贈られました。

フリーランスで作品制作を行っているという山本さんは、「学校が休校になったりしている状況だが、門出の日なので思い出の写真を入れてもらいたいと思い贈呈した」と話しました。

なお、写真立ては内海中学校の卒業生にも贈られました。



山本さんから贈呈された写真立てを持つ家串小学校の卒業生

3/
28

令和2年4月1日で休園 長月保育所で最後の卒園式



町内の各保育所で卒園式が行われました。

長月保育所では、唯一の卒園者が家族や先生、6人の在園児が見守る中、卒園式に臨みました。

式では、湯浅くんに卒園証書が渡された後、在園児によるお別れの歌が披露されました。最後に湯浅くんは家族や先生、在園児への感謝の言葉や保育所での思い出を発表して、式が締めくくられました。

長月保育所の休園

今年の3月末をもって昭和49年から48年間続いた長月保育所が休園となります。

3月31日(火)には、園児と保護者、先生で修了式を行い、長月保育所での思い出をスライドショーで振り返りました。

7人の園児は、4月から長月小学校、御荘保育所、城辺保育所で新しい生活を送ります。



愛媛CATV
動画



思い出を胸にそれぞれの道を歩む園児の皆さん



**町内の小学校で卒業式
123人が門出の日**

町内の12の小学校で卒業式があり、123人が卒業の日を迎えました。

船越小学校では、6年生の2人が家族や先生に見守られながら卒業式に臨みました。式典では、出席できなかった在校生からのメッセージが送られ、2人は笑顔を見せていました。

卒業生は家族や先生らに対する感謝の言葉と、中学校生活への意気込みを発表して式典が締めくくられました。

3/
24



期待を胸に一本松小学校に入学した新入生

**116人の新1年生が
小学校生活を開始**

町内の9つの小学校で入学式があり、116人の新1年生が期待を胸に小学校生活を開始しました。

17人の児童が入学した一本松小学校では、保護者や教職員、6年生児童が見守る中、新入生は緊張した面持ちで式典に臨みました。

西邦彦校長は式辞で、「皆さんの入学を心待ちにしておりました。全校児童104名で、仲良く楽しい一本松小学校にしていきましょう」と呼び掛けました。

4/
8



引き締まった表情を見せる南宇和高校の新入生

**113人の新入生が
高校生活を開始**

県立南宇和高校で入学式があり、113人の新入生が保護者や教職員らが見守る中、期待と緊張が入り混じった表情で式典に臨みました。

石崎一水校長は式辞で、「充実した高校生活を送ることを期待しています」と述べ、新入生を激励しました。

新入生代表で宣誓した田山利友さん（一本松出身）は、「南宇和高校の一員であるということに誇りを持って努力し続けていきたい」と高校生活への決意を表明しました。

4/
8



中学校生活に向けての決意を表明

**117人の新1年生が
中学校生活を開始**

町内の5つの中学校で入学式があり、117人の新1年生が期待と希望を胸に学校生活を開始しました。

6人の生徒が入学した内海中学校では、保護者や教職員が見守る中、新入生が式典に臨みました。

新入生誓いの言葉で代表生徒は、「中学校生活の中で分からないことや悩みもあると思うが、周りの人たちに教わりたいながら、前に進めるようにがんばりたい」と決意を表明しました。

4/
8-9



4/
3・8 高齢者叙勲旭日単光章
芝田信良さんと大石輝夫さんが受章

88歳(米寿)の年に長年にわたり地方自治に尽力された功績により、2月1日付けで芝田^{のぶよし}信良さんと大石^{てるお}輝夫さんが高齢者叙勲旭日単光章を受章しました。



芝田信良さん(城辺甲)

芝田さんは、昭和60年2月から平成9年2月まで、12年以上城辺町議会議員を務めました。

また、在任期間中は4年間城辺町監査委員として、町政の監視や行政運営の適正化に尽力されました。

今回の受章について芝田さんは、「周囲の皆さんのおかげで章を頂くことができました。ありがとうございます」と話しました。



大石輝夫さん(魚神山)

大石さんは、郵便局員を経て昭和62年4月から平成17年3月まで、およそ18年間内海村と愛南町の議会議員を務めました。

また、南宇和合併協議会委員として、5カ町村の合併に尽力されました。

今回の受章について大石さんは、「漁民の生活環境の整備に力を尽くしてきました。今回の受章は、地域の皆さんのご指導ご支援のたまものと深く感謝しています」と話しました。

「第1回愛南町フォト&ムービー
コンテスト」入賞作品

「美しいふるさと愛南町の魅力ある四季の風景」をテーマに作品募集を行った「第1回愛南町フォト&ムービーコンテスト」(愛南町観光協会主催)の入賞作品が決定し、同協会のホームページに掲載されています。

町内の観光名所や各地区で行われているお祭り・イベントなど、愛南町の魅力を伝える写真や動画がたくさん選定されていますので、ぜひサイトにアクセスしてご覧ください。



観光協会
ホーム
ページ



フォト部門最優秀賞
「須ノ川海岸の夕焼け」
応募者：武内勇雄さん
コメント：愛南町から帰る途中、須ノ川公園にさしかかった時、見事な夕焼けに出会いました。



フォト部門優秀賞
「銀の砂を空に蒔く」
応募者：今村僚さん
コメント：夏は緑の生い茂る岬を。冬は空に広がる星空を。いつ行っても綺麗です。